

越谷西特別支援学校の活性化・特色化方針

（令和3年度～）

1 学校基本情報

種別	知的障害	学部・学科	小・中・高等部	児童 生徒数	(男)192 (女) 69	計 261
ホームページ	http://www.koshigayanishi-sh.spec.ed.jp/					
アクセス	東武線越谷駅から バス 25 分 / JR 東川口駅から バス 10 分 / 西新井下車 徒歩 10 分					
教育課程等の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・小学部における日常生活の指導、遊びの指導等を中心とした社会性の育成 ・中学部、高等部では複数の教育課程による生徒の実態・ニーズに応じた学習の実施 ・タブレットパソコン等のICT機器を活用した授業の展開 ・言語聴覚士、臨床心理士等の外部専門家を活用し、一人一人のニーズに応じた指導 ・漢字検定、パソコン検定等の検定試験の取組をとおした学習意欲の向上と自信の醸成 ・県立学校オリンピック・パラリンピック教育推進校として、新教育課程を踏まえた指導を研究している。 					
特色ある学校行事や部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・全校が一体となって取り組む運動会、西ようまつり（文化祭）を実施している。 ・県民健康福祉村における全校マラソン大会を実施している。 ・宿泊学習、修学旅行、社会体験学習、社会科見学等を通して、経験の拡大を図るとともに主体的な活動を促している。 ・中学部、高等部には部活動があり、個性や能力の伸長を図りながら意欲的に活動している。 ・高等部の球技部・陸上部は、特別支援学校体育連盟の大会において入賞などの活躍をしている。 					
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会、学校公開を年2回実施、多くの方に来校いただいている。 ・越谷市立大沢小学校、西中学校との交流及び共同学習を実施し、互いのことを理解し合える活動に取り組んでいる。 ・高等部生徒会は、越谷総合技術高校及び越谷市内の高校生徒会との交流を実施している。 ・家庭とは、毎日の丁寧な連絡帳、連絡をとおして密な連携をとっている。 ・高等部は、地元企業、地元施設との連携を進めながら現場実習に取り組んでいる。 					
進路について	<ul style="list-style-type: none"> ・一般就労は約29%、福祉施設などの利用が約63%である。 【一般就労】店舗（スーパーマーケット）、サービス業（レストラン、クリーニング）、倉庫（工場）、高齢者介護施設、事務補助など 【福祉的就労】越谷市・松伏町・草加市・川口市・春日部市・さいたま市等の福祉施設 ・小学部・中学部の生徒は、それぞれ中学部・高等部等へ進学している。 					

（生徒数：R2.5.1現在、進路はR2.3月卒業生の実績値）



本校の 特色

本校の教育方針・・・小・中学部、高等部の生徒の実態、ニーズに応じた教育課程
 個別の教育支援計画、個別の指導計画を作成し、外部専門家の指導助言を活用

教育内容の特色・・・自立活動を重視し、タブレットパソコン等のICT機器を活用した授業の展開



充実した自立活動

実績のある自立活動の指導は、児童生徒の意欲・主体性を育みます。

高等部

基礎的な学力を高め、自ら進んで課題に取り組みます。
 卒業後の社会生活へ向け、仲間と協力する姿勢を養います。
 心身の健康を意識し、生活を豊かにする力をつけます。

校内・現場実習

校内実習、現場実習に繰り返し取り組み、適性に応じた進路実現を目指します。



校内支援体制

本校コーディネーター、担任、関係者を交え、全校体制で児童生徒の支援を検討します。

中学部

学んだことを生かし、自ら考え、行動します。
 人との関わりを深め、協力して生活します。
 健康や安全に関心を持ち、基礎的な体力をつけます。

外部専門家の活用

言語聴覚士、臨床心理士等の専門家を活用し、的確な実態把握、指導・支援を行います。

保護者との連携

保護者との密な連携をとおして、児童生徒を大切に育みます。

小学部

興味関心を広げ、意欲的に学びます。
 人との関わりを広げ、自分の気持ちや要求を表現します。
 基本的な生活習慣を身につけ、健やかな身体をつくります。



意欲・自信の育成

各種検定試験の受験、美術展、硬筆展への出品により、意欲と自信を育みます。

児童生徒一人一人を確実に伸ばし、自分の生活を切り開く力・社会生活のできる人間の育成